提	案書目次	記述依賴事項	評価基準	重要項目	評価点	配点
	概要					
1	本的な考え 本業務の 目的	・本市の背景と目的を踏まえ、本業務の全体構成	・本調達仕様書に記述している「1.本業務の背景と目的」を正しく理解し、本市の抱える課題に対しての解決方法が判りやすく記述されているか。		10	40
2	実施体制	・プロジェクト管理の考え方について記述すること。 ・本市指定様式「業務従事メンバー状況表(体制図) (様式第11号)」にしたがい、導入時の体制について 記述すること。 ・本市指定様式「業務従事メンバー状況表(従事メン バーの役割詳細)(様式第12号)」にしたがい、上記 体制に記述したメンバーの経歴等(経歴・実績、経験 年数、専任/兼任の別)を記述すること。 ・提案するシステムの導入作業における本市との役割 分担について記述すること。	・本調達仕様書に記述している「5. 実施体制」を理解し、不十分または過大な体制となっていないか。 ・住民記録システム事業者やLGWAN運用センターなどと協議が必要な場合に関係者と主体的に連携を行う体制となっているか。 ・構築にあたって本市との役割分担が明確に記述されており、職員の負担を軽減する工夫がされているか。	0	10	40
3	スケ ジュール	ケジュール案を記述すること。	・本調達仕様書に記述している「6. 導入スケジュール」を踏まえて、実現性のあるスケジュールであるかおよびクリティカルバスやマイルストーン等の進捗管理の上で重要となるポイントや時期が記述されているか。		10	30

提	案書目次	記述依賴事項	評価基準	重要項目	評価点	配点
2 企	業実績					
1	企業実績	・本市指定様式「業務実績調書(様式第6号)」 に従い、人口20万人以上の地方公共団体におい て、住記システムやそれに付随するシステム(住 民基本台帳ネットワークシステム、戸籍システ ム、異動受付等窓口支援システム)の導入及び運 用保守の実績(構築中は含まない)について記述 すること。	区又は人口20万人以上の市において履行した実績(稼働実績)がどの程度あるか。		10	20
		全体概要に対する内容	 		小計	130
	テム要件 本的な考え					
1	システム構成	ついて記述すること。 ・本市の現況を把握し、どのようなシステム構成	・本市の窓口業務に応じた構成が具体的に記述されているか。 ・本市の現状を鑑み、既存住記システムやネットワークに関する全体像を明確にした上で、システムや機器の構成、運用法が具体的に分かりやすく記述されているか。	0	10	40
2	ネット ワーク構 成	本市指定様式「システム構成図(様式第13号)」に従い提案すること。 ・提案する業務を実現するために想定している ネットワーク構成図を詳細に記述すること。	・総務省の提唱する「地方公共団体における情報 セキュリティポリシーに関するガイドライン」を 理解し、本市にとって実現性のある構成となって おるか。 ・ネットワーク構築における本市との役割分担や 作業の責任範囲が明確となっており、職員の負担 を軽減する工夫がされているか。		10	30

	是案書		記述依頼事項	評価基準	重要項目	評価点	配点
	ハエフア	ーバ/ ードウ ア、ソ トウエ	害対策やセキュリティ面等で、本調達仕様書の要件にない取り組みがある場合は記述すること。また、受託者で準備し、本市に設置するハードウエア及びソフトウェアについて、本市指定の様式「ハードウエア構成一覧表(様式第14号)」、「ソフトウエア構成一覧表(様式第15号)」に従い提案すること。	・本市の現況を鑑み、既存住記システムやネット ワークに関する全体像を明確にしたうえで、シス テムや機器の構成、運用方法が具体的にわかりや すく記述されているか。 ・必要な機器が提案に含まれているか。	0	10	40
	Г;	触れな」の視	・市民に「触れない(ふれない)」視点においての期待できる効果と運用案について記述すること。 ・以下の①、②の場合について記述すること。 ・以下の①、②の場合について記述すること。 ①住所異動(転入、転出、転居)に伴う場合 Webサイトにて、事前情報入力、市民への持 参書類の案内等、QRコード発行する機能、特徴 等の窓口での記載台に触れない等の期待できる密 集回避効果について記述すること。 ②住所変更を伴わない異動(出生、死亡、婚姻等)の場合 Webサイトにて、持参書類や来庁場所などの 手続き案内する機能、特徴等について記述すること。	・本調達仕様書の背景と目的、システム要求を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法で わかりやすく記述されているか。		10	50
2		」の視	・市民が「書かない」視点においての期待できる 効果と運用案について記述すること。 ・事前にQRコードを読み取り後、職員のヒアリ ングによる確認や、関連手続きの漏れ防止等につ いて記述すること。	・本調達仕様書の背景と目的、システム要求を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法で わかりやすく記述されているか。		10	50

提	案書目次	記述依頼事項	評価基準	重要項目	評価点	配点
3	「待たな い」の視 点	・市民が「待たない」視点においての期待できる 効果と運用案について記述すること。 ・本市が提供する帳票サンプルをOCR読込みし た際の識字率を記述すること。 ・転出届等のOCR読込み、住記システムへの データ連携により、従来の職員が住記システムへ の入力作業が省略されることについての機能、特 徴を記述すること。	・本調達仕様書の背景と目的、システム要求を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法で わかりやすく記述されているか。		10	50
4	国保及び 医療証手 続き	・異動に伴う他課向けの帳票出力(事前に登録している帳票への4情報をプレ印字)についての考え方、特徴を記述すること。 ・他課向けの帳票は、法改正や定期的な運用変更に伴う帳票レイアウトの変更対応等について、考え方を記述すること。	・本調達仕様書の背景と目的、システム要求を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法で わかりやすく記述されているか		10	40
\$	現行運用 の併用	・本システム導入にあたり、現状における紙ベース異動申請を併用する場合の考え方、運用方法を記述すること。 ・併用運用の際、本システムと既存住記システムとのデータ整合性に関する対応方法について記述すること。	・本調達仕様書の背景と目的、システム要求を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法で わかりやすく記述されているか。		10	30
6	総合支所対応		・本調達仕様書の背景と目的、システム要求を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法で わかりやすく記述されているか。		10	50

提案書目	次	記述依頼事項	評価基準	重要項目	評価点	配点
市民- ⑦ ター対	対応	・住記・国保・医療証等の一連の事務を市民センター窓口では対応をしており、その手続きを一人で行っている。このような市民センターでの運用について記述すること。また、本庁に比べ、高齢者の来庁が多いことに配慮した運用も記述すること。	・本調達仕様書の背景と目的、システム要求を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法で わかりやすく記述されているか。	0	10	50
異動な わない 請書a 行	い申	等)の場合の申請書出力の考え方について記述すること。	・本調達仕様書の背景と目的、システム要求を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法でわかりやすく記述されているか。 ・申請書出力について制限等がある場合は減点要素とする。		10	30
		システム要件に対するP	内容評価点		小計	460

3人住業	配点	評価点	重要項目	評価基準		是案書目次	
7 基準の考え方、具体的な終了基準について記述 ボデが関係に整理されており、大幅な凝緩を未然 下次単延を各工程での手戻りなど、フロジェクト管理の考え方、方法、具体的な目標が明像に整理されており、大幅な凝緩を未然 下方スト要 下方ストできること。 下方ストでは、フロシェクトを行う場合の個人情報 保護の考え方について記述すること。 下方スト要な用いてテストを行う場合の個人情報 保護の考え方について記述すること。 下方スト要な方とうが、							
・テスト工程における基本的な考え方、テスト手法、テスト環境、テストデータの作成、本市との 役割分担について記述すること。 ・実データを用いてテストを行う場合の個人情報 保護の考え方について記述すること。 ・研修などその他導入に必要となる作業及び役割 分担について記述すること。また研修方法や研修場所についても具体的に記述すること。 その際、次の2点を考慮すること。 でのに、次の2点を考慮すること。 でのに、次の2点を考慮すること。 でのにといびすること。 でのにといびすること。 でのにといびすること。 でのにといびすること。 でのにといびすること。 でのにといびすること。 でのにといびすること。 でのにといびすること。 でのにといびすること。 である場合には、その内容については、アローや図を用いた資料や映像、実演等により、実務をイメージしやすい方法を提案すること。 でも他追加提案がある場合には、その内容について記述すること。 ・本業務におけるマニュアル作成に関して、マニュアルでにといるでは、その内容について記述すること。 では、その内容についてにいているが、	40	10		・プロジェクト管理の考え方、方法、具体的な目標等が明確に整理されており、大幅な遅延を未然に防ぐための対策に実現性があるか。 ・本調達仕様書に記述している「5. 実施体制」	了基準の考え方、具体的な終了基準について記述 すること。 ・作業遅延や各工程での手戻りなど、プロジェク バ導入 ト管理上の遅延が発生した場合の考え方について	D クト管理	1
	20	10		施できるよう工夫されているか。 ・テスト環境やテストデータ作成など職員の負担 を軽減するよう工夫されているか。 ・個人情報を用いてテストを行う場合のセキュリ	スト要 法、テスト環境、テストデータの作成、本市との 役割分担について記述すること。 ・実データを用いてテストを行う場合の個人情報	2)	2
マニュアルでとに考え方、具体的な内容、本市との役割分担について記述すること。(市民課、総合支所、市民センターそれぞれについて考慮すること。ケースかりやすく使いやすいマニュアルを準備するなど、本市の負担をできる限り軽減するよう工夫と) ・その他追加提案がある場合には、その内容につされているか。	30	10		・本調達仕様書に記述している「7. システム要求総論」(4)研修の実施を理解し、本市にとって有益かつ実現性の高い方法で記述されているか。	分担について記述すること。また研修方法や研修 場所についても具体的に記述すること。 その際、次の2点を考慮すること。 ①市民課、総合支所、市民センターの通常業務や 繁忙期について考慮し、提案すること ②研修については、フローや図を用いた資料や映 像、実演等により、実務をイメージしやすい方法 を提案すること ・その他追加提案がある場合には、その内容につ	3) 研修	3
TO CHOLE / S G G O	20	10		のマニュアルが網羅されているか。 ・分かりやすく使いやすいマニュアルを準備する など、本市の負担をできる限り軽減するよう工夫	ニュアルごとに考え方、具体的な内容、本市との 役割分担について記述すること。(市民課、総合 支所、市民センターそれぞれについて考慮するこ と)	4)	4

	案書目次	記述依頼事項	評価基準	重要項目 評価点	配点
	ュリティ要 [。] 人情報の取				
1	個人情報の取扱い	・取扱う個人情報の範囲とデータの取扱いについて記述すること。 ・本市庁舎以外で取扱う場合の考え方、セキュリティ方針を具体的に記述すること。	・本調達仕様書に記述している「11.セキュリ ティ要件」を理解しているか。	10	30
	慢セキュリー	・セキュリティ要件に関する基本的な考え方、方 針を記述すること ・情報セキュリティに関する資格の保有状況につ いて記述すること。 ・その他、構築に際し実装することが望ましいセ キュリティ機能について記述すること。	・本調達仕様書に記述している「11.セキュリ ティ要件」を理解しているか。	10	20
		セキュリティ要件に対する	る内容評価点	小計	50
	保守業務要 用保守業務	件			
		務環境、体制、業務フローなどの助言や提言する 提案があれば記述のこと。	・本調達仕様書に記述している「9. 運用支援要件」を理解し、不十分または過大な体制となっていないか。 ・住民記録システムの運用保守契約満了後の考え方が、本市にとって有益かつ実現性の高い方法で記述されており、職員の負担を軽減する工夫がされているか。 ・実現性のあるコスト削減手法が提案されているか。 ・市民サービス低下を未然に防ぐことができる提	O 10	40
2	Webサイ トの運用 保守	・Webサイトの運用保守体制及び運用支援全般について記述すること。 ・Webサイトの文言修正など軽微な修正をする場合の考え方ついて記述すること。 ・法改正や条例改正におけるWebサイトの運用保守につての考え方を記述すること。 ・本運用保守全般について本調達仕様のサービス水準を保ちながらコストを削減する手法を提案すること。	・市民が安全で快適な利用に寄与する提案であるか。	O 10	40

提到	案書目次	記述依賴事項	評価基準	重要項目	評価点	配点
(3)	制度改正 対応	・制度改正等に伴うシステム改修の費用負担の考え方について、記述すること。	・本調達仕様書の内容を理解し、本市にとって有 益かつ実現性の高い方法でわかりやすく記述され ているか。		10	30
4		・本システムにおける次回のシステム更新の基本 的な考え方について、コスト面及び安全性の面か ら記述すること。			10	30
(5)	機能強化等	述すること。	・機能強化や追加機能を本業務システムに対応することについて具体的に提案されているか。 ・本調達範囲または運用保守範囲で実施することを具体的に提案されているか。 ・国のシステム標準化(転出証明書にQRコードを印字する仕様等)、マイナンバーカード(マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進に関する方針)等の今後の動きに対応できる提案をされているか	0	10	40
その1	(Hı	運用保守業務要件に対する	3内容評価点		小計	180
	由提案					
1		・調達仕様書に記載されている事項以外で、本業 務に有益な提案があれば記述すること。なお、本 調達範囲内で実現可能な提案を記述すること。	・いずれの項目にも該当しない、本業務をより質 の高いものにする提案であるか。	0	10	50
		自由提案に対する内容	李評価点		小計	50

	提案書目次		記述依賴事項	評価基準	重要項目	評価点	配点
	1	機能評価	・本市指定様式「機能評価一覧(様式第16 号)」にしたがい、該当するシステムとしての対 応方針に「●」を記述すること。	・評価基準の機能評価点の採点方式に従い評価する。	_	-	100
					合計	1080	